

かみすげたささのおか

令和4年5月31日
上菅田笹の丘小学校
学校だより6月号



上菅田笹の丘小学校 学校教育目標
自分大好き 仲間大好き
心かがやく上菅田笹の丘小学校



「ひょうたん池 大フィーバー」

副校長 坂井 敦

お子さんから聞いている方もいらっしゃるかもしれませんが、本校のひょうたん池が大変賑やかです。3月中旬の夜、アズマヒキガエルのペアが卵を産みに来ていました。1日に4ペア見ることもあり、今年はい多いなあと感じていました。4月には、オタマジャクシが大量に孵り、子どもたちの注目を集めていました。先月行われた授業参観の合間に見かけられた方もいるかもしれません。それが今、足が生え小さなカエルになりました。池には、黒々とした塊がいくつもあり、その数は、数万匹いるかと思われます。陸生のカエルなので、そのうち森に帰っていくことでしょう。それまで見守っていきたいです。この校舎で働いて7年目になりますが、最後の年に大フィーバーを見ることができ、生き物好きとしては、嬉しく思っています。子どもたちも休み時間や放課後に観察したり、手に取ったり楽しそうです。

本校は、自然豊かなのが自慢の一つです。なので、見つけた物を展示したり、飼育したりしています。見落ししがちな花や実、色がきれいなタマムシやちょっと危険なムカデを展示しました。以前校内に作られたスズメバチの巣を恐る恐る覗く子どもの姿は、他校では見られない光景です。これから夏にかけて、子どもに人気のカブトムシも加わる予定です。アシナガバチやアオダイショウも、また生け捕りできたらいいなと思っています。学校に来られた時には、ぜひ本校舎1階の理科室前にお立ち寄りください。

学校自慢の一つには、食育もあります。季節を感じられるメニューに変更したり、地域食材を活用したりしています。給食を食べながら季節を感じたり、地域に感謝して味わったり、子どもたちは、成長段階に応じて多くのことを得ていると思います。先日は、地域でとれたソラマメの鞘剥きを1年生がしました。1年生は、ソラマメの触り心地や匂いなど、初めて感じたことがたくさんあったと思います。他学年は、食べ終わると1年生に感謝のメッセージカードを書いていました。給食を通して異学年交流が生まれるのも本校の特徴です。さらに驚いたのは、2年生の町探検に付き添い、畑の横を歩いていたら、「あっソラマメだ」「本当だ」という会話が聞こえてきました。収穫前のソラマメを認識できるのは、大人でも少数派だと思います。一つの食材でこんなに広がりが見られる食育の成果を食育月間でもある6月にさらに上げていきたいと思っています。

季節感は、教えられるものではなく、感じるものなので、子どもたちには、たくさん感じたり、味わったりしてほしいと思っています。これから梅雨に入り、気分が下がりがちになりますが、梅雨ならではの季節感を楽しめるように工夫をしていきます。今月もご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。